

先輩ママのドキドキヒヤヒヤ！体験談

～身近でおこる子どもの事故～



日ごろから、安心安全対策を
してくださいね！

発行：相模原市役所

転落 4か月

状況:ダブルベッドの真ん中に寝かせていて転落させてしまいました。



その後の対応:

大人のベッドに寝かせないようにしました。

アドバイス:いつの間に動いていた・・・？が多くなる時期。高いところに寝かせない、おむつ交換台等でも目を離さないようにしましょう。



転落 1歳

状況:ベビーベッドに隣接する窓のカギを立て自分で開けていました。まだつかまり立ちすると思っていませんでした。窓が全開したら、窓外に転落するところでした・・・。



その後の対応:

ベビーベッドをすぐに片付けました。

アドバイス:階段やソファをよじ登ることができ始める時期。できなかったことが突然できます。意外なものが足場になりますので気をつけて！



転落 2か月

状況:上の子用に使用していただっこ紐を、調整せずにそのまま使っていたら、抱っこ紐をすり抜け転落してしまい、すぐに病院に運ばれました。



その後の対応:抱っこ紐を使うときは、しっかりと子どもの体型に合うように、その都度調整するようにしました。

アドバイス:首のすわりによっても抱っこ紐の使い方は異なるため、体型や月齢、成長に合わせた正しい使い方を知ることが大事ですね。



切り傷・打撲 7か月

状況:サイドボードにハイハイで突進して、ひたいを切ってしまいました。病院で縫合してもらいました。



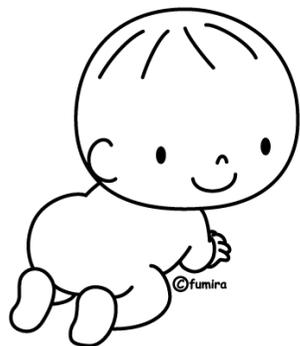
その後の対応:サイドボードを交換し、角をガードするものを装着しました。

アドバイス:つかまり立ちの時期も家具の角に頭や顔、身体をぶつけることがあります。長期間、家具等の角は保護することが大事ですね。



切り傷・打撲 1歳2か月

状況:台所のシンク下の扉を開けて包丁をもって出そうとしていました。扉は、開かないようロックをしていましたが、外して開けていました・・・。



その後の対応:包丁など危険なものは、子どもの手の届かない、シンク上に置くようにしました。まさか、防止ロックを外すとは思いませんでした。

アドバイス:防止ロックのかけ忘れて、開けてしまう場合もあります。面倒でも、予防は大事ですね。



切り傷・打撲 2歳

状況:洗面台の上に置いてあったカミソリを子供用足台に上ってさわってしまい、手を切っていました。止血して大丈夫だったため、受診はしませんでした。カミソリは父が置いていました。



その後の対応:目を離さないように気を付け、危ないものが置いてあれば、片付けるようにしました。

アドバイス:こどもは大人の使うものに興味をもちます。刃物はその都度片付けるようにしましょう。



やけど 3か月

状況:抱っこしていて、台所の炊飯器で足をやけどさせてしまいました。水ぶくれになり皮膚科を受診しました。



その後の対応:台所には連れて行かないようにしました。また、入れないように柵をつけました。

アドバイス:ポットも蒸気でやけどの危険あり！コードは引っ張らないようにしておきましょう。



やけど 1歳3か月

状況:台所でガス調理済みのなべを置いておいたところ、取っ手に子どもが手をかけていました。もう少しで熱い汁をあびてしまうところでした。



その後の対応:調理が終わったら取っ手を奥に向きかえるようにしました。鍋をすぐに片付けるようにしました。

アドバイス:ちょっとしたよい習慣の積み重ねが事故予防！家族みんなの笑顔につながります。



やけど 2歳

状況: コップの熱いコーンスープをこぼして、やけどしそうになりました。



その後の対応:

熱すぎないように作るようにしました。

アドバイス: シャワーも要注意！温度設定だけでなく自分でも確認を。

慣れたことこそ丁寧に♪



誤飲・窒息 10か月

状況: 実家でタバコの吸い殻を両手に握っていました。中毒情報センターに連絡し様子を見ましたが、その後は、何もありませんでした。



その後の対応: タバコの灰皿を手の届かないところへ置くようにしました。

アドバイス: タバコを吸うときは、子どものいない場所で吸うとより良いですね！



誤飲・窒息 1歳

状況:果物の桃をあげたところ、のどに詰まってしまいました。上半身を下にして背中を叩いたところ桃が出てきました。



その後の対応:桃はしばらくあげませんでした。あげる時は大きめに切って、子どもが自分で噛み切りながら食べられるようにしました。食べている間は目を離さないようにしました。

アドバイス:硬さ・大きさ・口の中に入れる量がポイント！お子さんが食事に集中できる環境づくりも大切です。



誤飲・窒息 1歳8か月

状況:上の子のおもちゃ（ビー玉等）を口に入れようとしていました。



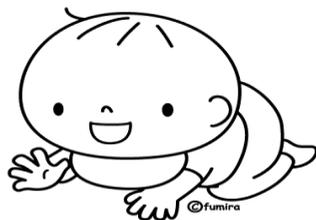
その後の対応:手の届かないところへしまうようにしました。また、家族内で協力してもらったり、言い聞かせたりしました。

アドバイス:1歳代だと言い聞かせるだけでは、理解できないことも……。わからなくても大丈夫のように片付けてしまうのが良いですね！



その他 8か月

状況: テーブルの角を保護するカバーを付けましたが、色付きのため、すぐに子どもがはがしてしまいました。



その後の対応: 透明なカバーにしたら、子どもにはがされることはなくなりました。

アドバイス: 現在、様々な事故予防対策グッズがありますが、子どもの興味の持ち方を考えて、色を選ぶなどの工夫も対策の1つですね。ママ同士で情報交換してみるのも良いでしょう。



相模原市役所

平成31年3月

イラスト出典：わたなべふみ氏 子供と動物のイラスト屋さん

わんパグ